

CCNet 春日井局 第 57 回放送番組審議会議事録

1. 開催期間 2021 年 1 月 7 日(木)～2021 年 2 月 19 日(金)

2. 場所 書面開催

3. 委員 山田 公夫 (中部大学常勤理事・総長補佐)
石田 見子 (あさひ文庫代表)
松田 照美 (かすがい女性連盟役員理事)
加藤 裕二 (春日井市企画政策部長)
山田 真平 (春日井商工会議所専務理事)
山田 祥之 (小牧市市長公室長)
三輪 洋一郎 (小牧商工会議所中小企業相談所次長)
鈴木 良元 (犬山市経営部長)
正木 朗 (犬山商工会議所専務理事)
宮地 瑛子 (犬山市婦人会連絡協議会会長)
紀平 剛志 (扶桑町総務部長)
丹羽 則之 (扶桑町商工会事務局長)
天野 浩 (大口町総務部長)
馬場 輝彦 (大口町商工会事務局長)

4. 議事

- (1) 自主制作番組の内容検討について
- (2) 2019 年度下期および 2020 年度上期の制作番組実績報告について

5. 要旨

議事(1) 自主制作番組の内容検討について

【ご意見・ご感想】

◇試写番組：「やさいのミカタ」・・・JA 愛知北協力・健康料理番組。

- ・「紹介する食材」を取り上げた理由も知りたい。
- ・食材の栄養や性質について説明があるのは良い。
- ・出演者の掛け合いが楽しい。クイズがあるのも良い。
- ・作り方が丁寧に説明されていて良い。
- ・食材の出荷や売られている様子なども見られるとより番組が印象的になるのではないかと。
- ・字幕が適度に入っていてわかりやすい。
- ・生産者だからこそ知る食べ方のワンポイントアドバイスがあるとよい。
- ・地産地消の料理番組という趣旨が良い。

◇試写番組：「エール～新型コロナに挑む～」・・・コロナ禍の地元事業者への密着番組。

- ・経営の緊迫感を伝えるため、もっと具体的な説明があると良かった。
- ・コロナ禍での新たな市場開拓や従業員を守るという姿勢や意気込みが伝わった。
- ・コロナ対策に取り組む姿を見て応援したい気持ちになった。もっと番組尺は長くて良い。
- ・番組で取り上げた事業者を応援するという企画を試してみるのも良いと思う。
- ・ワクチン接種や様々な支援策などの発信も検討してもらえると良い。
- ・ニュースに近い印象があり、人のドラマは感じられない。盛り上がりは欠ける。
- ・単独インタビューではなく、トーク形式で現状を掘り下げる形にしてもいいと思う。

◇試写番組：「秋の犬山をおもてなし～お笑い人力車で巡る城下町～」

・・・愛知県住みます芸人とCCNetキャスターが巡る犬山城下町

- ・デジタルスタンプラリーの説明をもう少し詳しく知りたかった。
- ・犬山城下町のまちづくりの特徴が良くわかった。
- ・食リポを通して、犬山の名物が良くわかった。
- ・観光客へのインタビューがもっとあっても良かった。
- ・出演者の掛け合いが楽しい。とても興味を惹かれた。
- ・犬山に行きたくなる企画。混雑情報や旬のイベント情報なども発信してほしい。
- ・全国放送のバラエティ番組に匹敵する面白い構成だった。
- ・出演者の犬山への愛情が伝わる。また、CCNetキャスターが面白いので、同じキャスターでシリーズ化してほしい。
- ・他の市町でも同様の企画をしてほしい。
- ・食リポが中心なので、文化的な面をもっと掘り下げても良かった。

議事(2) 2019年度下期および2020年度上期の制作番組実績報告について

【ご意見・ご感想】

- ・コロナ禍での番組制作は多くの制約があり、厳しかったと思う。その中で制作した番組をより多くの人に見てもらえる工夫を今後もっと考えていく必要がある。
- ・家にこもる人が増え、テレビを視聴する機会が増えたと思う。
知っている人が出演するからCCNetを見ているという声も聞きます。
- ・放送番組をYouTubeで再配信するのも良いと思う。
- ・コロナ対策の特集など、視聴者がメリットを感じられるような番組作りに努めてほしい。
- ・地元情報を扱うCCNetは興味深い。
- ・再放送は厳選した番組でお願いしたい。

以上